



ながらの手法で楽しく稲刈り！

稲刈り体験

11月10日、瀬戸内市振興公社で稲刈り体験のイベントが開催されました。これは、食の大切さを子どもたちに知ってもらおうと、瀬戸内市振興公社とおかやまコープが共催で実施したものです。

参加した子どもたちは、自分たちが7月に手植えた苗が立派に成長している姿をみて大喜び。けがをしないように慎重な手つきで鎌を使いながら、丁寧に稲を刈り取りました。

その後、稲を刈った後の広々とした田んぼで、子どもたちは走ったり稲わらを使ってかくれんぼをしたりと、楽しい時間を過ごしていました。



抱えきれないくらいたくさんの稲を刈りました！



広い田んぼでのびのび遊ぶ子どもたち



祉や健康について考える

せとうち保健福祉フェスタ2019



野菜クイズで野菜に詳しくなろう！



白衣を着て調剤体験にチャレンジ

ゆめトピア長船で11月17日、「であい ふれあい ささえあい」をテーマに「せとうち保健福祉フェスタ2019」が開催されました。

会場には、朝からたくさんの家族連れが来場し、手作りおもちゃの体験や子ども調剤体験、人気キャラクターショーなどさまざまなコーナーに立ち寄って、健康や福祉について楽しみながら関心を深めていました。



つまでもお元気で

100歳を迎えた高齢者をお祝い

11月21日に満100歳を迎えた木村昌子さん（邑久町）のお祝いに、武久顕也市長が入所している施設を訪問し、お祝い状などを贈呈しました。

岡山市で生まれ育った木村さんは、教職員だったご主人と結婚。穏やかに暮らしていましたが、若くしてご主人を病気で亡くされた後は、慣れない農業を一生懸命頑張っておられました。また、旅行が好きだった木村さんは、旅先で人形を購入して集めていたそうです。

長寿の秘訣は「苦労はあっても楽しみを見つけて前向きに生活すること」。木村さん、これからもますますお元気で過ごしてください。



ご家族と一緒に、武久市長と記念撮影する木村さん（写真中央）

瀬戸内市の旅

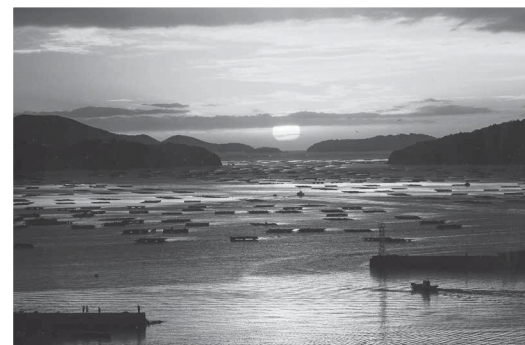
Journey of Setouchi City



牛窓フェリー乗り場近辺からの夕陽の眺望

虫明の「^{せと}迫門の曙」と牛窓の夕陽は、日本列島夕陽と朝日の郷づくり協会「日本の朝日百選・夕陽百選」に選ばれています。

朝日と夕陽のどちらにも認定されているまちは、中・四国地方では瀬戸内市だけです。



虫明港：「日本の朝日百選」認定の写真

虫明はカキの養殖が盛んな港町。瀬戸内の多島美やカキいかだが広がる瀬戸内海を望むことができます。そんな虫明から見る朝日のことを「迫門（瀬戸）の曙」といいます。その景色は和歌にも多く詠まれており、中でも平忠盛の「虫明の迫門の曙見る折ぞ都のことも忘れにけり」は広く知られています。



大平山（迫門の曙）：「日本の朝日百選」認定の写真

また、日本のエーゲ海・牛窓から見る瀬戸内海の眺望は大変素晴らしい、特に島々の間に沈む夕陽は格別です。青い空と海が、大きさを増す夕陽とともに少しずつ赤く染まっていく様子は、まさに絶景です。



前島展望台から望む夕陽と多島美の眺め

利用のご案内

ぜひ、市内のいろいろな場所をめぐって、自分だけの朝日・夕陽の絶景スポットを探してみてください。

▷所在地 虫明「迫門の曙」（邑久町虫明）
牛窓の夕陽（牛窓町牛窓）

☎瀬戸内市観光協会

☎0869-34-9500

